

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

産業部 商工観光課

件名	干潟交流館にて牡蠣教室が開催されます
アピールポイント	<p>道の駅鹿島内にある、鹿島市干潟交流館にて有明海の牡蠣について学べます。</p> <p>有明海に生息する3種類の牡蠣についての座学や、解剖を行い知識を深めることができます。</p>
説明	<p>◇イベント概要</p> <p>(1) 日時 令和2年2月22日(土) 13時30分～15時30分</p> <p>(2) 場所 鹿島市干潟交流館2階 学習室</p> <p>(3) 対象 小学4年生以上(小学生については保護者同伴)</p> <p>(4) 参加費 無料</p> <p>(5) 定員 20名(先着順)</p> <p>干潮時に有明海を沿岸から見渡すと「牡蠣礁」を見ることができます。この牡蠣は大正時代から養殖がおこなわれ、かつては日本一の漁獲量があったが海苔養殖が盛んになるにつれて牡蠣養殖は徐々に廃れていきました。しかし、近年、牡蠣礁は冬の赤潮を抑制するなどの機能が注目され、その存在が再考されつつあります。</p> <p>これを機に有明海の牡蠣を学んでみませんか？</p>
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

## 本件に関する問合せ先

所属	産業部 商工観光課 観光振興係
氏名	森 隆文
TEL	0954-63-3412
FAX	0954-63-2313
Mail	<a href="mailto:rousei@city.saga-kashima.lg.jp">rousei@city.saga-kashima.lg.jp</a>

2020年  
2月22日  
13:30～15:30

かき  
牡蠣  
教室



干潮時に鹿島市干潟交流館から干潟を観ると、遠くに「牡蠣礁（Oyster reef）が広がっています。この牡蠣礁は有明海の環境改善効果があるとされており、近年、注目を浴びています。そもそも牡蠣とはどんな生き物なのか、どんな魅力があるのでしょうか？この講座では、座学だけでなく実験や解剖を通して「牡蠣の謎」に迫ります！

【場所】 鹿島市干潟交流館2階 学習室

【対象】 小学4年生以上

※メスを扱うため、低学年だと作業が困難です

【参加費】 無料

【定員】 20名（先着順）

【申込方法】 電話，FAX，E-mailにてお申し込みください。  
お申し込みの際には、参加者氏名，年齢，連絡先（携帯電話等）をお伝えください。



【申込・問い合わせ】

鹿島市干潟交流館（担当：藤井）

TEL 0954-60-5028 / FAX 0954-60-5121

E-mail: [kouryu01@po.asunet.ne.jp](mailto:kouryu01@po.asunet.ne.jp)

※担当スタッフが常駐していないため、ご質問を即答出来ないことがあります。